

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら高坂駅前教室		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 39名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年 1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちだけでなく保護者様との情報共有や、悩み、困りごとの受け皿になり解決策を共に考えていける	保護者様同士の横のつながりを築いていけるように定期的なサロンの開催や個人面談等	通所されている方以外にも子育てや様々な子供に関する悩み等相談することのできる場所としても活用してもらいたい
2	「音楽療法」を取り入れている	特に児童発達支援に関しては「音楽」を通して認知や行動を楽しく自然に身につけていけるようにしている	単調にならず、成長度合いにあった工夫をしていく
3	きちんとした社会性や人とのコミュニケーションを身につけていく為のSSTに力を入れている	・特性や理解度を考慮してグループ分けを行いながら活動(プログラム)を行っている ・個別にデータ収集を行い記録している	個々の子どもたちに対し、職員皆に共有できるようにきちんとデータ整理をし、話し合いの時間を設けていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内の狭さ	・特に放課後デイについては学年の幅が広く、体の大きさなどで教室が更に手狭に感じる保護者も多い。 ・能力や特性が様々で小集団とはいえまとめて活動を行うことがむずかしい	・職員配置によりその日の児童を特性等によりグループ分けを行い、色々な活動に取り組めるようにしていく。 ・外出等で5領域の健康や感覚を鍛えていくような取り組みを増やしていく
2	職員全体へ情報共有の不足	すべての職員とのその日の振り返りや問題点等の抽出が送迎等でうまくできていない	・職員(パート職員等)が日々違うことも多いため、更にきちんとした共有システムの確立が必要。 ・日々の振り返り、注意点について職員同士でも共有しあえる時間を設けていく
3	活動(プログラム)内容が単調になりやすくなっている	・職員が「危険」や「できない」を意識しすぎている。	・「危ないからやらない」ではなく「どうしたら安全にできるのか」を職員全体が意識してプログラム内容の検討を行う必要がある。 ・経験が少ない子供たちに色々な事を体験、経験させていけるようにしていく。 ・職員が笑顔で楽しめるプログラム内容を検討していく